

2. 指標設定

成果指標	指標名	予防接種率の向上		目標年度	H27				指標の設定理由	
	数値	—			予防接種率を向上させることが、疾病予防になるため					
活動指標	指標	a	MR1期予防接種率	b	MR2期接種率	c	市内医療機関	d		
	数値	目標	95%	目標	95%	目標	—	目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
予防接種率の向上		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a MR1期予防接種率	%	70.2 %	92.2 %	96.5 %
b MR2期接種率	%	92.8 %	95.1 %	98.4 %
c 市内医療機関	ヶ所	25 ヶ所	26 ヶ所	26 ヶ所
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
ポリオが不活化ワクチンに変更し、4種混合ワクチンとなる。また子宮頸等ワクチンが定期予防接種となることで、補助金がなくなり財政的に負担増となる
対応（改善点等）
対応については、県下の動向を注視していく。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

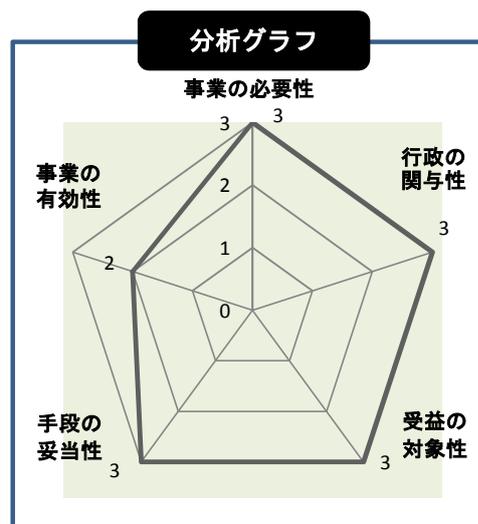
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		72,128	63,372	90,759	82,868
うち経常経費		38,594	38,647	48,300	50,451
財源内訳	国費				
	県費	33,534	8,026	19,199	16,147
	市債				
	その他			438	
	一般財源	38,594	55,346	71,122	66,721
うち経常		38,594	38,647	48,300	50,451
事業費に係る人件費		17,066	17,519	13,115	12,967

6. H25年度予算の方向性

方向性
増額
理由
ポリオ接種が集団接種から個別接種になるため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 個人または社会的感染拡大を防止するために有効である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 予防接種法により、行政の責任を課せられている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 乳幼児～高齢者に至る市民全員が享受できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 身近な医療機関で接種できることが接種率向上につながる手段と判断する
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 接種率は徐々に向上している。ただしポリオ接種については不十分さがある



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適切及び効果的な事業実施を行うこと。